

一人ひとりの子どもが主人公となる学校を実現させましょう

子どもの健康と安全を守り、子ども一人ひとりにゆきとどいた教育を実現するためには、教育環境を充実させることが大切です。皆さんにもご賛同いただき、県民の声として、千葉県知事に対し、教育予算の拡充を求めていきたいと思っております。ぜひ、署名にご協力をお願いいたします。

子どもの健康と安全を守ろう

- ☆学校施設、通学路の安全確保、不審者対策等をすすめることが必要です。
- ☆子どもたちの複雑化・多様化する個別の現代的健康課題に対応するため、大規模校では、養護教諭が複数必要です。
- ☆感染症の拡大防止に向けた物的・人的な支援の重要性が増しています。

豊かな学びを支援するための教職員配置の実現を

- ☆義務教育標準法の改正で、2020年度より5年間をかけて小学校全学年の学級編制の標準が引き下げられます。さらに、中学校へも35人以下学級の拡大をはかる必要があります。

子どもと向き合う時間の確保と教職員の多忙解消を

- ☆従前の業務改善などを中心とした検討にとどまらず、大幅な教職員定数改善等を求めていく必要があります。

特別支援教育、相談体制の充実を

- ☆特別支援アドバイザー事業 7,196万円
21人が配置され、要請に応じて特別支援アドバイザーを派遣し、助言・援助を行います。
- ☆スクールカウンセラー配置事業 8億9,582万円
・小学校 384人・全公立中学校 312人
・県立高等学校 105人・教育事務所等 11人
- ☆スクールソーシャルワーカー配置事業 1億2,648万円
(2023年度 千葉県当初予算)

義務教育を守ろう

- ☆義務教育費国庫負担制度がなくなると、県の財政状況によって、教職員数削減の心配があります。子ども一人ひとりに充実した教育を実現するためにも、制度の堅持が必要です。

教育費の保護者負担の軽減を

- ☆教材費等の公費負担を拡充すること
- ☆教科書の無償制度を守ること 等

1年間でこれだけ保護者負担になっています

児童・生徒1人あたりの年間学習費(公立)	
小学校	約35万3千円(私立 約167万円)
中学校	約53万9千円(私立 約144万円)
高校	約51万3千円(私立 約105万円)
	(2022年 文部科学省調査)

就学援助・奨学金制度等の拡充を

- ☆就学援助を受けている児童・生徒数(全国)
 - ・要保護者 約9万人
 - ・準要保護者 約120万8千人
- ※対象者が全児童生徒数に占める割合は約14%
(2021年度 文部科学省調査)
- ☆高校における奨学のための給付金(千葉県)
 - ・千葉県の事業費 8億7,302万円
(2023年度 千葉県当初予算)
- ※今後対象者を拡大していく必要があります

子どもの声、保護者の声、地域の声

- ☆子どもと向き合う時間、これは大切にしてほしい。人員は増やすべき。(保護者)
- ☆学級の人数が少ないと、発表できる回数が増えてやる気が出るし、分かるまで教えてもらえてうれしい(児童)
- ☆図書館司書の先生がいるので、雰囲気明るくなりました。いろいろな本を紹介してくれたり、いつでも相談にのってくれたりします。(生徒)
- ☆スクールカウンセラーのような、先生以外の人に相談できる、そんな環境がどの学校にもあるといいですね。(保護者)
- ☆学校が避難所になった時でも安心して集まれるような施設になるよう、災害・感染症などに対する備えを希望します。(地域住民)

『2024年度教育予算拡充を求める署名』にご協力をお願いいたします！

取扱い団体:子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会(21団体)

千葉県市町村教育委員会連絡協議会 千葉県都市教育長協議会 千葉県町村教育長協議会 千葉県小学校長会 千葉県中学校長会
千葉県高等学校長協会 千葉県特別支援学校長会 千葉県公立学校教頭会 千葉県高等学校教頭・副校長協会
千葉県特別支援学校副校長・教頭会 千葉県養護教諭会 千葉県学校栄養士会 千葉県学校事務研究協議会
千葉県公立学校事務長会 千葉県公立高等学校事務職員会 千葉県PTA連絡協議会 千葉県高等学校PTA連合会
千葉県退職校長会 千葉県退職教職員の会 千葉県退職女性教職員の会 千葉県教職員組合

事務局:千葉県教職員組合 千葉市中央区中央4-13-10 TEL 043(224)0484